

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	石狩	学校名	江別市立東野幌小学校			校長名	得能敏宏	
氏名	本岡育美	職名	教諭	年齢	34歳	教職員経験年数	12年	
教育実践のタイトル		児童の資質・能力の育成に向けた校内研究及び教科指導の改善・充実の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、教科指導の改善・充実に努め、研究部長として児童の確かな学力の育成に向けた校内研究の推進に尽力するとともに、野幌中学校区における小中一貫教育学力向上・授業改善部会の部長を務め、積極的に授業公開を推進するなど、管内教員の指導力向上に取り組んでいる。</p> <p>特に、校内研究においては、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」の育成を単元計画に適切に位置付けた「東野小スタイル」の研究を進めるため、自ら提案授業を実施することで、校内の全教員の共通理解を図り、その成果を江別市学校課題研究発表会において管内の教員に提言するなど、授業改革に大きな成果を上げている。</p> <p>また、令和4年度には初任段階教員研修の講師として、児童や保護者との関係づくりに基づいた学級経営、教科指導及び学習環境の整備等について助言するなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>平成26年度 石狩市教育振興会社会科（小）部会 授業者</p> <p>令和3年度 札幌市立ノホロの丘小学校学校課題研究会 共同研究者</p> <p>江別市教育研究会社会科（小）部会 授業者</p> <p>令和4年度 野幌中学校区小中一貫教育学力向上・授業改善部会 部長</p> <p>江別市学校課題研究発表会（発表校） 研究部長 研究発表</p> <p>初任段階教員研修 講師</p> <p>令和5年度 石狩教育研修センター主催ICT実技研修講座（初級） 講師</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	後志	学校名	共和町立北辰小学校			校長名	佐藤寛	
氏名	佐藤皓亮	職名	教諭	年齢	40歳	教職員経験年数	18年	
教育実践のタイトル		体育科教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、令和2年度からは小学校の体育専科教員活用事業における専科教員として、体育科の授業を通じて共和町内の児童の体力向上を推進する授業改善に取り組んでいる。</p> <p>特に、体育の授業にICTを導入することにより、児童自身が身体の動きを録画し、確認しながら活動に取り組むことができるようにするなど、主体的に運動に取り組む態度を育む実践を重ね、新体力テストの結果向上にも寄与しており、町内児童の体力向上と体育の授業における主体的な学びのモデルとして大きな成果を上げている。</p> <p>また、体育の授業に特別支援教育の視座に立ったスモールステップの支援を取り入れ、導入段階で継続的に取り組むことができる動的なストレッチを町内全ての学校で実践、普及、定着させ、町内の体育科の授業改善に中核的な役割を果たすとともに、後志教育研修センター主催の研修講座において、管内の教員を対象に研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和4年度 共和町教育研究会小中合同研修会 授業者</p> <p>後志教育研修センター研修講座「保健・体育」 講師</p> <p>後志管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	胆振	学校名	苫小牧市立錦岡小学校			校長名	後藤 敏彦	
氏名	がな ひがし やま し おり 東 山 志穂里	職名	教諭	年齢	37歳	教職員経験年数	15年	
教育実践のタイトル		児童の体力向上を目指した実践的な取組と体育科の指導の充実に向けた取組						
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、学級経営力や教科指導力の向上に取り組み、近年は、体育専科教員として優れた教科指導力を発揮し、児童が主体的に学ぶ体育の授業の充実を図るなど、児童の体力向上を目指した組織的な取組を推進する要としての役割を果たし、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、授業時間外に「元気タイム」と称した日常的にダンスや縄跳び等の運動に親しむ時間を設定し、外遊びを通じた児童の体力・運動能力を向上させる取組や、補強運動を取り入れたスモールステップによる授業改善など、児童一人一人の日常的な運動量を確保するための取組は他の模範となっており、管内の体力向上の取組の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、苫小牧市教育研究所や胆振教育局が主催する研修会及び研修講座において、体力向上講座の講師を務め、児童が主体的に活動に取り組むための授業改善について提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和2年度 北海道教育委員会「体力向上支援事業」 体育専科教員</p> <p>令和3年度 苫小牧市教育研究所研修講座 講師</p> <p>令和4年度 胆振管内体力向上指導力向上研修 授業者 苫小牧市教育研究所委託事業 授業者 胆振管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会「体力向上支援事業」 体育エキスパート教員</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	胆振	学校名	登別市立幌別小学校			校長名	柴田 政人	
氏名	がな よし い まき ひろ 吉 井 真 裕	職名	教諭	年齢	51歳	教職員経験年数	20年	
教育実践のタイトル		小学校における外国語科教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、学級経営力や教科指導力の向上に取り組み、近年は、外国語専科教諭として優れた教科指導力を発揮し、遠隔等による交流活動に積極的に取り組むなど、小学校における外国語科教育の充実に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、コミュニケーション活動において、道外や海外の小学校とのICTを活用したオンライン交流やALTの家族とのビデオ交流など、児童が相手意識をもち、コミュニケーションの楽しさや意義を感じられるよう工夫した授業改善の取組は他の模範となっており、本道の外国語科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、登別市内3校の小学校で外国語科の指導に従事しながら、市内の中学校とも連携を図り、外国語科教育における9年間を見通した資質・能力を育成する授業改善や、指導の充実に向けた情報交流において中核的な役割を果たすとともに、「学校力向上に関する総合実践事業」地域協議会において授業者を務め、豊富な経験に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>平成22年度～平成24年度 アグアスカリエンテス日本人学校 派遣</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「学校力向上に関する総合実践事業」第2回地域協議会 授業者 胆振管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	檜山	学校名	せたな町立北檜山小学校			校長名	浅沼珠恵		
氏名	佐藤 彩	職名	教諭	年齢	39歳	教職員経験年数	17年		
教育実践のタイトル		小学校での授業改善推進に関する取組							
教育活動	<p>令和3年度から檜山北部では最初となる「授業改善推進チーム」の担当教諭として、せたな町立北檜山小学校と今金町立今金小学校の2校を巡回し、国語科及び算数科の示範授業や、授業改善の協議を通して児童の学力向上に努めた。</p> <p>特に、推進チームが発行する通信や校内研修等で、「身に付けさせたい力を明確にした指導計画」や「全道で徹底する授業改善の取組」など、授業づくりの重要な視点を解説し、実際の授業を通してその具体と効果を示す実践は、管内の若手教員の授業力向上に大きな成果を上げ、高く評価されている。</p> <p>また、令和4年度には、「オール檜山「学び合い」プロジェクト」の講師を務め、国語科における自らの実践を発信するなど、檜山管内の国語教育の推進に尽力した。さらに、推進チーム映像版実践資料「自分の考えを数学的に表現し伝え合う授業づくりの実際」を作成し、その成果は管内及び全道に発信されるなど、道内の授業改善と学習指導の一層の充実に貢献している。</p>								
業績	<p>令和3年度・令和4年度 北海道教育委員会「授業改善推進チーム活用事業」 推進教員</p> <p>令和4年度 檜山管内教育実践表彰 受賞</p> <p>オール檜山「学び合い」プロジェクト 講師</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	オホーツク	学校名	網走市立東小学校			校長名	三村尚広		
氏名	谷口 寛人	職名	教諭	年齢	38歳	教職員経験年数	14年		
教育実践のタイトル		ICTの活用を通じた授業改善の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、校内研修等の組織的な教員研修の充実に努め、近年では1人1台端末を効果的に活用した授業改善や校務におけるICTの効果的な活用等について、所属校のみならず網走市内、オホーツク管内の教育に大きく寄与している。</p> <p>特に、令和2年度から網走市学校ICT活用推進委員として、年間を通してICTを活用する能力の育成目標を示した「情報活用能力体系表」を作成するなど、市内の小・中学校におけるICTの効果的な活用推進において中核的な役割を担っている。</p> <p>また、所属校が主体校となっている地域連携研修では、網走市内の小・中学校へ情報発信・授業公開を行っているほか、「Google for Education 事例校」として、全国の教育関係者に対する授業公開を行う予定である。</p> <p>そのほか、管内小・中学校の校内研修の講師としてGIGAスクール構想の実現に向けた取組に係る発表や、オホーツク教育局及び網走地方教育研修センターが主催する研修会に講師として参加するなど、管内教育の推進・発展に尽力している。</p>								
業績	<p>令和2年度～令和4年度 管内小・中学校における校内ICT研修 講師</p> <p>令和2年度～令和5年度 網走市学校ICT活用推進委員</p> <p>令和3年度・令和4年度 学力向上フォーラム in 網走 講師</p> <p>令和3年度 雄武町学校教育振興会推進協議会学習会（ICT活用） 講師</p> <p>オホーツク夏の教育セミナー 講師</p> <p>令和4年度 網走地方教育研修センター研修講座「保健室経営」（ICT活用） 講師</p> <p>オホーツク管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 地域連携研修（ICT活用指導力の向上の取組） 実践発表</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	オホーツク	学校名	佐呂間町立佐呂間小学校			校長名	二神孝久		
氏名	河合建弥	職名	教諭	年齢	33歳	教職員経験年数	10年		
教育実践のタイトル		特別活動を軸とした教育実践の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、特別活動を軸とした学級経営や、児童が主体的に学習を進める教科指導に取り組み、管内の初任段階教員研修等の場において、自身の教育実践の成果を発信している。</p> <p>特に、令和4年度オホーツク夏の教育セミナーにおける特別活動部会の発表者として、1人1台端末を活用した振り返りを通じた学びの継続による、児童の学ぶ意欲を高める取組を発信し、管内の教職員の資質向上に寄与した。また、令和5年度北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業における協力校の授業者として、佐呂間町教育委員会及び佐呂間町経済課商工観光係と連携・協力し、佐呂間町長による出前授業や、特産物のかぼちゃについて町との関わりを学ぶ学習など、地域の人材や教材等を積極的に活用する授業実践を展開した。</p> <p>また、「道徳と特別活動」（文溪堂 令和3年11月号）、「初等教育資料」（東洋館出版社 令和2年3月号）などにおいて、自身の特別活動における教育実践の記事が掲載されるなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>令和4年度 初任段階教員研修（4年次） 講師 オホーツク夏の教育セミナー特別活動部会 発表者 オホーツク管内特別活動研究会 研究部長 オホーツク管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 北海道特別活動研究会上川・旭川大会 提言者 北海道教育委員会「北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業」協力校 授業者</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	十勝	学校名	足寄町立足寄小学校			校長名	大宮秀夫		
氏名	ほだの純貴	職名	教諭	年齢	36歳	教職員経験年数	13年		
教育実践のタイトル		国語科教育の指導充実に向けた取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、子どもが自分自身の言葉で見方や考えを表現するための力の育成に向けた、子どもを主体とした授業デザインについて、研究を深めている。</p> <p>特に、北海道教育大学釧路校の非常勤講師として「初等国語科教育法」の講座を担当し、教員を目指す学生に対して、授業づくりの具体的な構想や単元構成のポイントを教授するとともに、十勝管内の初任段階教員研修の講師として若手教員の育成に努めるなど、管内の国語教育の充実に大きな役割を果たしている。</p> <p>また、自校の学力向上推進コーディネーターとして、各種調査等の詳細な分析による児童の実態の適切な把握や、エビデンスに基づいた改善策の提示、また、授業改善の視点を明確にした校内研修を実施するなど、学力向上に貢献している。</p>								
業績	<p>平成28年度 第71回北海道国語教育研究大会網走大会「読むこと」部会 提言者</p> <p>平成29年度 第47回全国小学校国語教育研究大会北海道大会「読むこと」部会長 授業者</p> <p>平成30年度～令和元年度 釧路国語教育研究会 研究部長</p> <p>令和元年度 北海道教育大学附属釧路小学校授業力向上セミナー「書くこと」 授業者 北海道教育大学附属釧路小学校授業力向上セミナー「読むこと」 授業者</p> <p>令和3年度～令和4年度 北海道教育大学釧路校 非常勤講師</p> <p>令和4年度 初任段階教員研修（4年次） 講師 「十勝の子どもの学力」（十勝教育研究所発行） 授業に生かせる実践例執筆</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	十勝	学校名	音更町立音更小学校			校長名	栗原賢次		
氏名	森圭介	職名	教諭	年齢	40歳	教職員経験年数	18年		
教育実践のタイトル		音楽科教育の指導充実及びICTの効果的な活用に資する取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、音楽科教育の充実に向けて、自身の研究成果及び授業実践に係る発表に取り組んでいる。</p> <p>特に、令和4年度北海道音楽教育研究大会十勝・帯広大会において、教材とする曲の音楽表現に対する思いや意図、曲想と音楽の構造との関わりについて、着目点を明確化しながらJamboardを活用して児童の意見共有を行うといった授業実践の発表や、「初等教育資料」（東洋館出版社）における「音楽科における創造性豊かな子供の育成」をテーマとした実践事例に係る記事の執筆等を通して、本道の音楽科の授業改善の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、自校の研修部において、通信の発行や校内研究の推進を通して、教科の学びを深めるICTの効果的な活用について、教員の共通理解を図る中心的な役割に従事し、教員の資質能力の向上や授業改善に向けて真摯に取り組むその姿勢は、高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成20年度 帯広市個人研究サポートシステム研究成果発表会 研究発表</p> <p>平成21年度 理想教育財団「育て!プリントコミュニケーション（全国コンクール）」 審査員奨励賞</p> <p>平成28年度 北海道教育大学教職大学院旭川校院生修了研究発表会 研究発表</p> <p>令和4年度 北海道音楽教育研究大会十勝・帯広大会 小学校6年（器楽）研究実践・授業提供（発表者）</p> <p>令和5年度 「初等教育資料」（令和5年6月号／文部科学省編：東洋館出版社） 実践事例執筆</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	釧路	学校名	釧路市立昭和小学校			校長名	津田裕匡		
氏名	大場公博	職名	主幹教諭	年齢	43歳	教職員経験年数	19年		
教育実践のタイトル		組織的な学校改善の充実に係る取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、確かな教育実践に基づく組織的な学校改善に尽力している。</p> <p>特に、教員が同じ目標の下で組織的に指導を行えるよう、日常的な学習規律の統一を図る「昭和スタンダード」を作成し、自己評価アンケートの分析に基づくPDCAサイクルによる授業改善や、全国学力・学習状況調査等のきめ細かな分析に基づく「学力向上プラン」の策定において中心的な役割を果たし、組織的な授業改善を推進するとともに、学校メールの活用方法の改善による校内外の連絡体制の確立など、ICTを活用した業務改善にも取り組み、時間外勤務時間の縮減に向けた年間業務の平準化や、計画的な業務の進行等の働き方改革に成果を上げている。</p> <p>また、釧路教育研究センターの専門員・研究所員として、釧路市内の幼稚園、保育園、小学校との連携に向けた業務引継シートを作成や、教員を対象とした研修講座の運営及び公開授業の実施において中心的な役割を果たすとともに、確かな実践に基づく提言発表や紀要の発行により、管内教育の振興と充実に大きく貢献している。</p>								
業績	<p>平成24年度 全道音楽研究会釧路大会 授業者</p> <p>平成28年度・平成29年度 釧路市立芦野小学校公開研究大会 研究発表</p> <p>平成29年度 釧路教育研究センター生徒指導研究専門委員会 紀要発行</p> <p>平成31年度・令和3年度 釧路教育研究センター学習指導研究専門委員会 紀要発行</p> <p>令和4年度～令和5年度 釧路市学力向上推進委員・釧路市保幼小連携に関するワーキングチーム会議 委員</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	根室	学校名	別海町立別海中央小学校			校長名	根本 渉		
氏名	大場 佳	職名	主幹教諭	年齢	53歳	教職員経験年数	31年		
教育実践のタイトル		「めざす子ども像」に向けた体制作りと近隣地域校を巻き込んだ教師力向上に向けた取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、令和3年度からは主幹教諭として、学校全体で目指す「子ども像」を検討し、共有する「めざす子ども像会議」を主宰するなど、検証改善サイクルを意識した教育課程の改善に努めている。</p> <p>特に、各校務分掌のリーダーや学年主任から構成される「校務運営委員会」を主宰し、様々な場面において同僚職員への指導・助言をする中で、教職員が自ら学び、自ら考えて動き出せるように学校全体をコーディネートするなど、「学校力向上に関する総合実践事業」の中核校である自校の「学び続ける職員集団」の風土醸成に力を尽くしている。</p> <p>また、自校をはじめ町内には初任段階教員が多いことから、近隣3校と連携した初任者研修及びメンター研修を主宰し、地域の初任段階教員のみならずミドル層の育成にも貢献しており、他校の教育関係者からも厚い信頼を得ている。主幹教諭として、管内の他の主幹教諭からも頼りにされアドバイスを求められる存在であるとともに、国語科教育、読書活動の充実、NIEにも精通している。</p>								
業績	<p>平成20年度～平成27年度 中標津小学校公開研究会 公開授業者</p> <p>平成28年度 北海道教育研究所連盟 第15次共同研究推進委員 根室教育研究所 副主任</p> <p>平成30年度～令和元年度 根室管内国語教育研究会 事務局長</p> <p>令和4年度 根室管内学校運営研修会「カリキュラムマネジメントの実際」 講師</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	空知	学校名	美唄市立美唄中学校			校長名	多田 光次郎		
氏名	井上 大輔	職名	教諭	年齢	51歳	教職員経験年数	26年		
教育実践のタイトル		自己肯定感や主体的に運動に取り組む意欲を高める保健体育科の授業実践の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、保健体育科の教員として継続的に授業改善に取り組み、生徒個々の課題に応じた学習活動ができるよう、創意工夫ある教育活動を展開し、指導の充実に尽力してきた。</p> <p>特に、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、1人1台端末をはじめとするICT機器の効果的な活用場面を精選し、生徒の振り返りを充実させるなどの日常的な授業改善を行ったことにより、主体的に運動に取り組む生徒が増えるなど、その取組は他の模範となっており、空知管内における保健体育科の授業改善の充実に貢献している。</p> <p>また、中学校体力向上推進事業の推進教員として、生徒会活動と連携したシャトルラン大会の実施や、生徒登校前の体育館・グラウンドの開放など、生徒が主体的に運動に取り組める環境整備等の取組を推進するとともに、美唄市内の小・中学校における出前授業において、自身の教科指導法を共有することで小中連携に尽力するなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>令和3年度 初任段階教員研修（2年次研修）公開授業（柔道） 授業者</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「中学校体力向上推進事業」 推進教員</p> <p>令和5年度 小中連携体育指導講師及び出前授業 授業者（美唄市立美唄中学校・美唄市立中央小学校）</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	石狩	学校名	北広島市立東部中学校			校長名	佐藤直己		
ふりがな氏名	たか井彩佳	職名	教諭	年齢	39歳	教職員経験年数	16年		
教育実践のタイトル		外国語科教育の充実に向けた指導方法の工夫・改善の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、中学校教諭として、外国語科の教材研究に努め、各種調査結果を基にした指導方法の工夫・改善に尽力するとともに、教務主任として、校内の学力向上に向けた検証改善サイクルの確立を図り、組織的な取組を推進する中で、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、平成27年度には、管内において「グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修」の講師を務め、平成30年度及び令和4年度には初任段階教員研修の講師として学級経営・教科指導等について助言を行うなど、管内の外国語科教育の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、校内においては、オールイングリッシュによる授業を実践し、同僚の教員の模範となるとともに、小学校との外国語の乗り入れ指導を担当し、中学校区の中核を担う教員として中1ギャップの解消に尽力するなど、その実践は高く評価されている。</p>								
	業績	<p>平成24年度 千歳市国際交流事業アメリカ合衆国アラスカ州引率者</p> <p>平成26年度 石狩管内教育研究会英語部会 事務局次長</p> <p>平成27年度 北海道教育委員会「グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修」講師</p> <p>平成30年度 初任段階教員研修 講師</p> <p>令和3年度 小中一貫教育全国サミット 授業者</p> <p>令和4年度 初任段階教員研修 講師</p> <p>東部中学校教務主任・小中一貫教育学力向上部会代表</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	上川	学校名	旭川市立中央中学校			校長名	工藤 亘		
ふりがな氏名	やまもと 愛	職名	教諭	年齢	44歳	教職員経験年数	19年		
教育実践のタイトル		特別支援教育の指導充実の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、中学校教諭として、特別支援学校での勤務経験を生かし、生徒が抱える背景や課題を含めた生徒理解に取り組み、きめ細かな学級経営の充実に尽力するとともに、生徒に安心感をもたせる学習指導や生徒指導を推進する中で、生徒一人一人の良さや可能性を最大限に引き出す創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、現任校において、初任段階教員のメンターとして豊富な経験に基づく指導・育成に向けた取組や、他の教員との協働による、高等養護学校等への進学を見据えたキャリア教育の充実など、チームとして特別支援教育に当たる取組は他の模範となっており、本道の特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、北海道立特別支援教育センターと連携を図った「特別支援教育基本セミナー」において、全道各地の若手教員を対象に授業づくりに関する実践発表を行う中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>								
	業績	<p>平成27年度・平成28年度 比布町教育支援委員会 委員</p> <p>令和4年度 北海道立特別支援教育センター「特別支援教育充実セミナー」実践発表 北海道教育委員会「特別支援教育ファーストステッププログラム」リーダー教員 上川管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 北海道立特別支援教育センター「特別支援教育基本セミナー」実践発表 旭川市特別支援教育相談員</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	宗谷	学校名	幌延町立幌延中学校			校長名	小野 篤 夫	
氏名	八 鋏 勇 太	職名	教諭	年齢	35歳	教職員経験年数	11年	
教育実践のタイトル		運動意欲・体力向上に向けた指導充実の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、中学校教諭として、自校において、体力向上の取組や運動に親しむ習慣づくりを実践し、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の種目別において、全道・全国の平均を上回る数値を記録するなど、自校生徒の体力向上に貢献している。</p> <p>特に、町内の小学校においてスキーや水泳の乗り入れ授業を行い、段階的にスキルアップを図る指導など、児童の学習意欲を引き出す創意工夫を重ね、町内の小中連携による体力や運動意欲の向上に貢献している。また、令和元年度から町の社会教育事業「かけっこ教室」の講師として、児童が体と頭を使いながら理解できるよう指導方法の工夫・改善を図り、町内の小学生の運動能力の向上に努め、運動の魅力を伝える活動を継続している。</p> <p>また、中学校体力向上推進教員として、各学校の模擬授業等に関する指導助言及び実践発表を通して、小・中学校の体育分野に係る体力向上プラン等に基づいた授業づくりの提案を行うなど、管内の教職員の指導力向上に大きく貢献している。</p>							
業績	<p>平成27年度 利尻島中高研究協議会 授業者</p> <p>令和元年度 宗谷管内教育研究大会豊富・幌延大会 授業者</p> <p>令和元年度～令和5年度 幌延町教育委員会社会体育事業「かけっこ教室」 講師</p> <p>令和2年度～令和5年度 宗谷地区中学校体育連盟陸上競技 専門委員長</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「体力向上支援事業」 中学校体力向上推進教員</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会「中学校体力向上推進事業」 教員（スペシャリスト）</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	オホーツク	学校名	北見市立光西中学校			校長名	小野 朋 之	
氏名	わた なべ とも あき 章	職名	教諭	年齢	35歳	教職員経験年数	12年	
教育実践のタイトル		数学科における指導方法工夫の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、中学校教諭として、オホーツク管内算数・数学教育研究会に所属し、北海道算数・数学教育研究大会において、「問題解決の授業における個人思考のあり方に関する実践」を提言し、自力解決と集団解決の計画的な働き掛けの成果についての研究発表や「主体的な学習活動を充実させる集団解決の改善」と題した、生徒の考えを引き出し、広げていく指導に焦点を当てた実践例を基にした研究発表に加え、「第三視点の評価に対応した、問題解決の授業の実践」と題した、意図的・計画的な指導が主体的な学習の根幹となることの提言を行うなど、道内の数学科評価方法の研究に大きく貢献している。</p> <p>また、オホーツク管内においては、網走地方教育研修センター「算数・数学科教育」の講師として、北見市内の小学校における講座の運営や授業実践のほか、オホーツク教育局とオホーツク管内教育研究団体連絡協議会が共同で開催している夏・冬の教育セミナーでの実践事例発表など、管内の算数・数学科教員の模範となる活動を通して、管内数学教育の推進・発展に尽力している。</p>							
業績	<p>令和3年度～令和5年度 北海道算数・数学教育研究大会領域別分科会 研究発表者</p> <p>網走地方教育研修センター「算数・数学科教育」 講師</p> <p>令和3年度 オホーツク冬の教育セミナー 実践事例発表</p> <p>令和4年度 オホーツク夏の教育セミナー 実践事例発表</p> <p>オホーツク管内教師力向上セミナー「数学的活動の充実に向けた算数・数学科の授業づくり」研修会 パネリスト</p> <p>オホーツク管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	十勝	学校名	帯広市立帯広第五中学校			校長名	高橋 譲	
氏名	かみ した とも ゆき 神 下 智 行	職名	教諭	年齢	38歳	教職員経験年数	15年	
教育実践のタイトル		道徳教育の充実に向けた取組及びミドルリーダーとしての実践の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、中学校教諭として、教育活動全体を通じた道徳教育の充実に向けた取組を推進し、生徒の道徳性を養う授業改善に尽力するとともに、若手教員の育成や幅広い年齢層の教員をつなぐ役割を担いながら、全教員の共通理解を図る取組を重視した学校改善に努めている。</p> <p>特に、生徒が自己を見つめるための導入の工夫や、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めるための交流場面の位置付け、また、中心発問の工夫等を図った道徳科の授業実践を追求し、十勝教育サークル合同研究大会における実践内容の公開や、十勝教育研修センター研修講座の講師として道徳科の授業改善の重要性を普及するなど、管内の道徳科の授業力向上に大きく貢献している。</p> <p>また、初任段階教員研修の講師を務め、ミドルリーダーとして若手教員の育成に貢献するとともに、家庭学習の充実に係るルールの一統化や、生徒会と連携した自主的な家庭学習の推進に係る啓発など、校内の学習習慣の定着に係る取組について、教員間の意見集約等を行い、全教員の共通理解を図った学校改善を推進している。</p>							
業績	<p>平成26年度 十勝教育研究所 協力員</p> <p>平成27年度 初任段階教員研修 講師 十勝教育研究サークル合同研究大会 授業者</p> <p>平成28年度 初任段階教員研修 講師</p> <p>令和5年度 十勝教育研修センター研修講座「特別の教科 道徳」 講師</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	空知	学校名	北海道岩見沢農業高等学校			校長名	野村 博之	
氏名	いし だ やす ゆき 石 田 康 幸	職名	教諭	年齢	42歳	教職員経験年数	20年	
教育実践のタイトル		地域資源を活かした教育活動の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、高等学校の農業科教諭として、地域特性を生かしたテーマに基づく教育活動、生徒の実態を踏まえ一人一人のニーズに応じた専門的な教育活動及び地方創生の学びにつながる教育活動に取り組んでいる。</p> <p>特に、「国際水準GAP教育推進プロジェクト」においてグローバルGAP認証取得に尽力するとともに、「専門高校フューチャープロジェクト」の一環として、農作物の冬期無加温栽培の実践において、ICT機器の活用など多様なニーズに対応した環境を整えることにより、北海道の将来を見据えた生徒の学習意欲の向上に貢献している。</p> <p>また、自校の農場長として、トマトの栽培方法及び経営の安定化につながる栽培技術の開発を目指して、JAと連携してプロジェクト学習を実施し、生徒が実際の地域課題解決に向けて取り組むことにより、農業生産現場の現状や、将来に向けた解決策について深く学ぶ機会を設けた。生徒の中には、学びを卒業後の農業経営に役立てる者もあり、地域農業に即した学びを展開し、主体的な地域社会の担い手育成を目指す実践は、高く評価されている。</p>							
業績	<p>平成19年度 北海道高等学校農業教育研究大会農業クラブ指導者分科会 研究発表</p> <p>平成27年度 北海道高等学校教育研究大会農業教科部会 研究発表</p> <p>令和元年度～令和4年度 北海道園芸研究談話会 研究発表</p> <p>令和3年度 全国高等学校農場協会全国大会 研究発表</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「北海道高等学校各教科等教育課程研究協議会」 提言</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	石狩	学校名	北海道札幌南高等学校			校長名	宮澤 一		
氏名	梶田 啓太	職名	教諭	年齢	38歳	教職員経験年数	11年		
教育実践のタイトル		科学的な思考力の育成に向けた探究型の授業を目指した取組							
教育活動	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、生徒の科学的な思考力の育成に向けた探究型の授業改善について研究し、授業の中で「理科の見方・考え方」を働かせる場面を意識的に取り入れ、生徒が自らの気付きを見いだすことに重点を置き、継続して主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をすることを通して、生徒の資質・能力を育む学習活動を展開している。</p> <p>特に、若手教員向けの実験講習会や教科指導力向上研修の講師として積極的な指導助言を行うなど、若手教員の資質・能力の向上に尽力するとともに、理科教育の動向について全国の理科教員との交流や研究協議を通じて研さんに努めるなど、本道の理科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、全国理科教育大会において、学習指導要領や大学入学共通テストを例に挙げた「科学的な思考力」についての提言や、教科書の編集協力、北海道生物教育会の事務局長として道内の理科教員を対象とした研修会の企画運営を担うなど、本道の理科教育における指導の充実に中核的な役割を果たし、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>令和4年度 東京書籍 高等学校理科教科書『生物基礎』 編集協力者                      全国理科教育大会及び日本生物教育会（JABE）第76回全国大会 合同北海道大会 研究協議提言</p> <p>令和5年度 東京書籍 高等学校理科教科書『生物』 編集協力者                      北海道高等学校理科研究会若手教員向け実験講習会 講師                      第66回北海道理科研究大会 研究協議話題提供                      北海道立教育研究所「教科指導力向上研修（中学校理科）」 講師                      北海道生物教育会 事務局長（令和5年～）                      北海道教育委員会「高等学校教育課程編成・実施の手引「理科（生物）」 執筆協力</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	胆振	学校名	北海道伊達開来高等学校			校長名	藤村 学		
氏名	宮川 萌	職名	教諭	年齢	40歳	教職員経験年数	15年		
教育実践のタイトル		学校教育と地域の社会教育を結ぶ「科学コミュニケーション」及びボランティア活動の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、学校教育と地域の社会教育を結ぶ「科学コミュニケーション」及びボランティア活動としての登山道の整備や自然公園の遊歩道の整備といった自身の活動に加え、自校の科学部生徒や部以外の生徒が、そうした活動に主体的に参加できる場をつくるなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、地域の自然活動団体と協働して、総合的な探究の時間における教材化に取り組み、風力発電施設の見学や、自然公園の高校生講師による一般見学会を企画運営するなど、地域探究学習の充実に尽力している。さらに、これらの成果について自校科学部で研究発表し、地域住民に還元するなど、地域の科学教育の充実に貢献しており、その実践は高く評価されている。</p> <p>また、令和5年度から武田科学振興財団による高等学校理科教育振興助成を受け、伊達市に隣接する有珠山において生態系調査を実施し、植生や動物相における基礎データを集め、その調査結果を活用した授業や教材について、地元の生徒に還元するための取組を進めている。</p>								
業績	<p>平成30年度 胆振教育局「平成30年度授業実践セミナー（道南・理科）」 講師</p> <p>令和4年度 公益財団法人北海道科学文化協会主催 科学（理科）教育貢献及び実践表彰                      胆振管内教育実践表彰 受賞</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	オホーツク	学校名	北海道津別高等学校			校長名	太田 徹	
氏名	うね だ ひろ へい 上 田 弘 恵	職名	教諭	年齢	47歳	教職員経験年数	23年	
教育実践のタイトル		地域と連携した探究学習を通じた指導方法の工夫に向けた取組						
教育活動	<p>長年にわたり、教務主任等、学校運営の中核的役割を果たす教諭として、学校教育目標に掲げる生徒の資質・能力の育成に取り組み、社会に開かれた教育課程の充実に尽力するとともに、地域の教育資源や人材の活用を推進する中で、地域と学校の連携・協働による創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、総合的な探究の時間における、地域課題を探究する「つべつ学」の実践において、町役場や地域のNPO法人との連絡調整や、探究学習を通して身に付けさせる資質・能力を明確にした年間計画や単元配列表、シラバスの工夫に取り組むなど、全教員による教科横断型学習プログラムの活用を図った取組は、本道における地域協働活動に関する教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、探究活動の評価の方法についても検討し、レーダーチャートによる生徒の自己評価システムを開発するなど、GIGAスクール構想との連携を図った探究学習に関する指導の充実に中核的な役割を果たし、研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>平成31年度～令和5年度 津別町図書館建設検討委員会 委員</p> <p>令和4年度 北海道立教育研究所「総合的な探究の時間」実践研修 実践発表 オホーツク管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会『高等学校教育課程編成・実施の手引』 「総合的な探究の時間」作成協力 北海道教育委員会「北海道高等学校各教科等教育課程研究協議会「総合的な探究の時間」講師</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	十勝	学校名	北海道帯広緑陽高等学校			校長名	楡木 伸 司	
氏名	みや かわ のり みつ 宮 川 尊 充	職名	教諭	年齢	42歳	教職員経験年数	20年	
教育実践のタイトル		ICTを効果的に活用した情報活用能力の育成に向けた工夫改善の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、情報科における探究的な学びを推進し、近年ではICTを効果的に活用した生徒の情報活用能力の育成に努めている。</p> <p>特に、「S-T EAM教育推進事業」授業改善セミナーにおける教科指導スペシャリストとして、道東ブロックのみならず、全道各地にて講師として実践発表を行い、クラウドサービスを活用した教材の配布や課題の提示、学習理解度の可視化など、自校の取組の成果を発信しながら、1人1台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実にに向けた授業改善に取り組んでいる。</p> <p>また、令和3年度から、高等学校教育課程編成・実施の手引における教科「情報」の執筆者として、学習指導要領の趣旨を踏まえ、観点別学習状況の評価や、指導と評価の一体化の在り方について、具体的な実践事例や評価問題の例示を通じた説明など、教科「情報」における探究的な学びを推進するための方策を示し、本道の高等学校における情報教育の改善・充実に尽力している。</p>							
業績	<p>平成29年度～令和5年度 北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会 担当者</p> <p>令和2年度～令和5年度 北海道教育委員会「S-T EAM教育推進事業」授業改善セミナー教科指導スペシャリスト</p> <p>令和3年度～令和5年度 北海道教育委員会「高等学校教育課程編成・実施の手引「情報」」 執筆者</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	十勝	学校名	北海道大樹高等学校			校長名	福本正規	
氏名	森 志美江	職名	教諭	年齢	54歳	教職員経験年数	32年	
教育実践のタイトル		家庭科教育を通じた地域に根ざした教育活動の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、地域の様々な人材を活用した授業に取り組み、生徒が主体的に家庭や地域の生活を創造する能力の育成に尽力する、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、担当の科目「家庭基礎」、「生活と福祉」、「子どもの発達と保育」、「フードデザイン」それぞれにおいて、地域人材の招へいや、町の社会福祉施設や子ども食堂といった関係機関への生徒の訪問など、地域の方と生徒が直接触れ合う機会を設けるなど、地域人材の活用を図った取組は他の模範となっており、本道の地域と連携した教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、大樹町給食センターと連携した高校生考案レシピによる給食の提供、企業と連携した町の推進するロケットにちなんだ「ロケットパン」の開発、さらに町教育委員会と連携した開放講座においては、料理教室の講師として毎年協力するなど、町の活性化や生涯学習の充実に大きく貢献しており、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>平成29年度～令和5年度 大樹町教育委員会「高等学校開放講座」講師 大樹町給食センターと高校生考案給食提供</p> <p>令和2年度 (株)満寿屋商店と「ロケットパン」共同開発</p> <p>令和4年度 農林水産省主催第7回食育活動表彰 北海道表彰</p> <p>令和4年度・令和5年度 文部科学省委託「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」 主担当</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	釧路	学校名	北海道霧多布高等学校			校長名	柴尾尚文	
氏名	島 加奈	職名	教諭	年齢	38歳	教職員経験年数	12年	
教育実践のタイトル		高等学校における特別支援教育の充実の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、高等学校における特別支援教育体制の整備と充実に尽力している。</p> <p>特に、自校において特別支援教育コーディネーターを務め、障がい特性やそれに応じた対応方法などの事例について、その豊富な経験に基づく実践的かつ即効性のある取組を校内研修において共有することで、教員全体の特別支援教育の視点に基づく指導の充実や、校内の特別支援教育の体制整備の推進に大きく貢献している。</p> <p>また、校外においても、多くの事業や研修会において特別支援教育に関する講師を務め、本道の特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げるとともに、釧路管内の特別支援教育総合推進事業専門家チーム委員として、巡回相談により管内の学校に対する指導・助言を行う中心的な役割に従事するなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和2年度 北海道教育委員会「特別支援教育総合推進事業」特別支援教育充実セミナー 講師</p> <p>令和3年度 釧路管内特別支援連絡協議会 講師</p> <p>令和4年度・令和5年度 北海道教育委員会「特別支援教育総合推進事業」 専門家チーム委員</p> <p>令和5年度 自主的研修・高等学校コースシンポジウム（北海道立特別支援教育センター主催） 講師 釧路管内初任段階教員研修（4年次） 講師 釧路教育局「特別支援教育コーディネーターを対象としたオンライン交流会」 講師</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	根室	学校名	北海道標津高等学校			校長名	渡辺幹夫	
氏名	鈴木祐二	職名	教諭	年齢	51歳	教職員経験年数	28年	
教育実践のタイトル		地域循環型防災教育及び理科教育の取組						
教育活動	<p>同校における生徒会担当として、「特別活動を通じた教育活動の充実」を目的として、積極的な地域連携による地域に根ざした生徒会活動を実践している。</p> <p>特に、防災教育において、「標津町オリジナルHUG」（避難所運営ゲーム）の作成や、同町内のこども園・小学校・中学校での防災に関する出前授業、また、町との連携による東日本大震災への被災地研修及び報告会の実施等、地域循環型防災教育の礎を築き、先進的な取組を実践した。また、その成果を、北海道教育委員会の主催事業等を通じて全道及び全国に発信・普及する活動にも尽力している。</p> <p>また、理科の教員として、海を題材とした学習活動を通して探究力を育むことを目的とした、海洋教育パイオニアスクールプログラムの単元開発の指定を活用し、北海道大学の教授を招へいした出前授業において、藻場・潮間帯を教材にするなど、理科教育における探究活動を実践している。その成果を令和5年度に大阪府で開催された海洋教育研究会において研究発表するなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和2年度 防災教育チャレンジプラン 防災教育優秀賞受賞 第24回ボランティアスピリットアワード コミュニティ賞受賞 第2回ユネスコスクール北海道・東北ブロック大会教育実践発表 実践大賞受賞</p> <p>令和3年度 第7回全国ユース環境活動発表大会全国大会 優秀賞受賞 防災未来賞「ぼうさい甲子園」 フロンティア賞受賞 防災まちづくり大賞 消防庁長官賞受賞</p> <p>令和4年度 根室管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 海洋教育研究会 研究発表「海洋教育の導入から、地域とつながる教科等横断的な探究活動へ」</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	檜山	学校名	北海道今金高等養護学校			校長名	飯出広行	
氏名	内田義文	職名	教諭	年齢	54歳	教職員経験年数	32年	
教育実践のタイトル		模擬株式会社の取組を通じた地学協働の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、特別支援学校教諭として、本校における学習指導や生徒指導はもとより、職業学科を設置する高等部の学習の中心となる作業学習において、窯業科学科長として、地元の鉱物である土や石、マンガン等を活用した製品開発に向けた学習活動の充実を図り、卒業後の生徒の成長を見据え、製品開発の一連の流れを理解させることなどにより、社会で働くための力を生徒に身に付けさせる教育実践を行っている。</p> <p>特に、自校における模擬株式会社の設立から運営に至るまでの取組にも中心的に関わり、生徒会活動に「模擬株式会社委員会」を設け、外部講師による講義等を通じて働き方を学ぶ模擬株式会社学習会の実施により、生徒自身が社会で働くことへの意識の向上に大きく寄与しているほか、校外からの生產品受注の窓口を担当し、学校と地元の外部機関、催事等の事業における受入れの連携役として中心的な役割を担うとともに、管内の小・中学校の校内研修の講師を務めるなど管内に取組内容を発信し、本道の地学協働の推進に貢献している。</p>							
業績	<p>令和4年度 檜山管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在